

都市再生整備計画 事後評価シート  
宮原運動公園周辺地区

令和7年11月

栃木県宇都宮市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	栃木県	市町村名	宇都宮市	地区名	宮原運動公園周辺地区			面積	553ha		
交付期間	令和2年度～令和6年度	事後評価実施時期	令和7年度	交付対象事業費	2,642.7百万円	国費率	0.452				
事業名											
公園(宮原運動公園整備事業、陽南第1公園改修事業、陽南第2公園改修事業)、地域生活基盤施設(宮原運動公園案内板整備事業)											
地域創造支援事業(明保野体育館改修事業)											
事業名											
道路(市道17号線整備事業、市道125号線整備事業、市道1823・1828号線整備事業)											
効率的な事業実施のため、隣接する都市計画道路である産業通り(大和)との一体的な整備によって、整備効果が高まることから、産業通り(大和)の整備スケジュールに合わせ、他の交付金を活用して整備することとし、本計画から事業を削除											
削除/追加の理由											
削除/追加による目標、指標、数値目標への影響											
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業									
	提案事業	地域創造支援事業(明保野体育館改修事業)									
	計画から削除した事業	基幹事業									
	提案事業	—									
	新たに追加した事業	基幹事業									
	提案事業	—									
	交付期間	当 初	—	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響							
		変 更	—								
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指 標		従前値	目標値		数 値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	宮原運動公園利用者数の増加 ※従前値は野球場利用者を含まない(解体中)	人	9,661	H30	16,000	R6	31,620	○	あり	
									なし	再整備によって、庭球場への人工芝の整備や野球場の機能向上など利用ニーズに即した機能を配置したほか、地域住民や利用者からの意見を踏まえた遊具や休養施設等の公園設備を充実したことで、施設の魅力が向上した。 また、野球場会議室を活用した様々なスポーツ教室の開催など、新たな取組等についても実施したことにより、利用者の増加に繋がった。	
	指標2	宮原運動公園の利用者満足度の増加	%	87	H30	90	R6	94	○	あり	
									なし	再整備によって、施設の機能が向上したことにより、地域の方々とのワークショップや関係団体との意見交換によって、地域や利用者のニーズに合った再整備を実施したことで、利用者の満足度の向上に繋がった。	
	指標3	地区内人口割合	%	5.14	H30	5.21	R6	4.93	×	あり	
									なし	再整備によって、地域住民の良好で快適な居住環境の形成やスポーツを通じた地域コミュニティ活動の充実に繋がっていると考えられるが、市全体の人口が減少している中で、計画期間中には「地区内人口割合」の目標を達成することができなかった。 一方、今回、地域防災設備を整備したことにより、公園の防災機能が向上し、地域の安全・安心な居住空間が形成されたことで、将来的な居住ニーズの高まりに寄与することができる見込まれ、地域に貢献することができるため、フォローアップとして、「災害時における地域防災設備の増加」の指標を新たに設定した。	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指 標		従前値	目標値		数 値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1	災害時における地域防災設備の増加	施設数	2	H30	7				その他他の数値指標1によりフォローアップ	
4)定性的な効果発現状況	再整備された施設が、地域住民のスポーツ活動や憩いの場となり、地域住民の健康維持や利用者間の交流促進が図られ、快適な居住空間の形成や地域コミュニティの醸成に繋がった。 宮原運動公園に3x3バスケットボール場が整備されたことで、バスケットボールに触れられる機会が創出され、「3x3のまち宇都宮」の推進に繋がった。 明保野体育館に空調設備の設置や床改修等がされたことで、利用者の熱中症対策や施設の使いやすさなどに繋がり、年間を通して快適なスポーツ活動環境の確保に繋がった。 宮原運動公園や明保野体育館のトイレ洋式化等によってバリアフリー化が図られ、子どもから高齢者まで誰もが快適にスポーツ活動ができる場が整備されたことで、スポーツ活動の促進に繋がった。										
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等			
	モニタリング	—		都市再生整備計画に記載し、実施できた					—		
	官民連携による取組	—		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した					—		
	持続的なまちづくり体制の構築	—		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					—		

## 様式2-2 地区の概要

## 宮原運動公園周辺地区(栃木県宇都宮市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
宮原運動公園周辺における、既存ストックを活用した誰もが気軽に快適に利用できる公園づくりによる、安全で快適な住環境を有した居住地の形成	宮原運動公園利用者数の増加 単位:人 宮原運動公園の利用者満足度の増加 単位: % 地区内人口割合 単位: %	9,661 H30 87 H30 5.14 H30	16,000 R6 90 R6 5.21 R6	31,620 R6 94 R6 4.93 R6
				
				
				
まちの課題の変化	<p>・宮原運動公園については、地域住民や利用者からの要望を踏まえた整備によって、地域住民のスポーツレクリエーション活動や健康づくりの場となり、地域住民のコミュニティ形成や良好な居住環境の形成に繋がった。今後においても、整備した施設の維持管理等に努め、地域住民の憩いの場を提供し続ける必要がある。</p> <p>・地区内のその他の公園(陽南第1公園、陽南第2公園)については、今回の再整備でバリアフリー化が図られ、子どもから高齢者まで誰もが快適にスポーツ活動ができる場が整備された。引き続き、地域住民や利用者からの要望を踏まえ、必要な修繕や整備について検討・実施し、スポーツ活動の促進をしていく必要がある。</p>			
今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)	<p>・地域住民や来訪者等の交流や施設の継続的な利活用を促進するため、イベントやスポーツ教室を開催するなど、施設の有効活用や施設の利用しやすい環境づくりに取り組む。</p> <p>・地区内のその他の公園(陽南第1公園、陽南第2公園)の整備については、地域住民や利用者からの要望を踏まえ、必要な修繕や整備を実施し、適切に維持管理していく。引き続き、新たな施設整備においては、個別計画の策定段階で、暑さ対策や景観・緑の創出などの観点も踏まえながら検討していく。</p>			